

旅行・宿泊プランからみた現代における「湯治」の実態

日本大学 正会員 ○西山 孝樹
 日本大学 正会員 天野 光一
 日本大学 正会員 阿部 貴弘
 元日本大学 非会員 松林 玄

1. はじめに

わが国では病気の治療や健康回復を行う、いわゆる「湯治」が盛んに行われてきた。しかし、第二次世界大戦以後は、その形態が崩れてきたとされる¹⁾。

そこで本稿では、現在の「湯治」がどのように実施されているのか、その実態に迫ることを目的とした。

2. 研究方法

本稿では、JTB や近畿日本ツーリスト等の大手旅行会社が企画するパッケージツアー商品に加え、宿泊プランも抽出可能な「楽天トラベル」のインターネットサイトを対象【2015 (平成 27) 年 1 月 14 日時点】とした。

3. 研究結果

「楽天トラベル」のサイト内において、「湯治」で検索を行った。宿泊施設として 616 件が該当し、掲載期日を過ぎているものを除くと 528 件となった(図-1)。

上記に示した宿泊施設の件数から、「湯治」と記載された宿泊プランを抽出すると 1,551 件が該当した。そのうち、通常の宿泊プランと内容が変わらないものに「湯治」という言葉が付記されているものを除くと 686 件となり、それらを本稿の研究対象とした(図-1)。なお、大手旅行会社が企画するパッケージツアー商品には「湯治」に該当するものはなかった。

現代における「湯治」の実態に迫るため、宿泊・健康・観光・療養の 4 項目に着目し、研究を進めた。

(1) 宿泊

a) 宿泊数

3 章で詳述した研究対象として選定した 686 件のうち、宿泊数については表-1 に示した泊数を指定している 357 件のプランを対象に考察を行った。

2 泊以上を指定する滞在プランが 253 件(約 70%)と最も多く、次いで 3 泊以上の滞在とするプランが 181 件(約 50%)であった。さらに、連泊の割引特典が付随するプランも 61 件が該当する結果となった。

従来の「湯治」では、2~4 週間程度の長期滞在をする

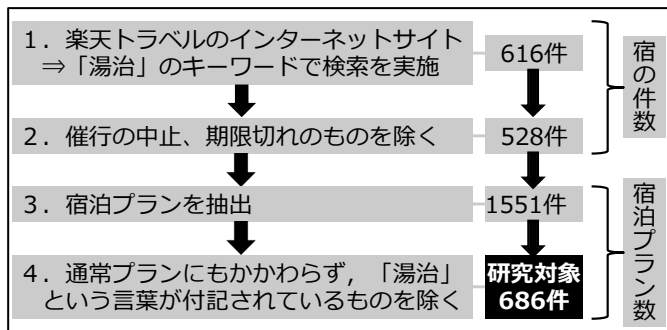


図-1 本稿で研究対象としたプランの抽出過程

表-1 宿泊数が指定されたプランの内訳

宿 泊 数	該当件数 (357 件)	割合 (%)
1 泊のみ	44	12.3
1 泊～連泊を選択できるプラン	112	31.4
2 泊のみ	44	12.3
2 泊以上のプラン (1 泊～連泊を選択できるプランと重複)	253	70.9
3 泊以上のプラン (2 泊以上のプランと重複)	181	50.7

ことが基本とされてきた²⁾。現代では、宿泊期間は縮小している傾向がみられたものの、連泊を想定しているプランが多くみられた。

b) 食事

宿泊時の食事は、自らが食材を持ち込んで、炊事場に用意されている鍋や電子レンジ等で自炊を行う旧来の形態が 52 件 (7.6%) で行われていた。他方、食材を持ち込まずとも、館内で食料品を調達することができる宿泊施設もみられた(図-2)。現代であっても、旧来から行われてきた自炊の形態は変わっていない状況にあった²⁾。

宿が提供する食事の工夫としては、194 件 (28.3%) で行われており、表-2 に示した管理栄養士が監修した食事を提供するプランも 3 件で実施されていた。これらを提供するプランは、「湯治」の新しい形態であるといえる。

c) 宿泊設備

表-3 をみると、湯治棟や自炊棟といった「湯治」を行う専用の棟を使用するプランが、686 件のうち 56 件と、全体の 8.0% 余で現存していた。そして、それら専用の湯治棟や自炊棟を保有する従来の宿泊施設が現在まで継承され、「湯治」が行われていることも明らかとなった。

キーワード 湯治, 温泉, 観光, 旅行プラン, 宿泊プラン,

連絡先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 日本大学理工学部まちづくり工学科 TEL 03-3259-0482

(2) 健康

「湯治」において、健康を回復することも一つの目的である。表-4 をみると、散策・ウォーキング (72 件) や登山 (37 件) を行うプランが多く、今日ではツーリング (2 件) やジム (5 件) といった現代的なものもみられた。

(3) 観光

表-5 をみると、従来の「湯治」で訪れていた観光資源である文化施設や神社仏閣、外湯めぐり等は、現在においても継承されていた。さらに、今日では酒造見学 (山梨県・下部温泉) や路地裏まち歩き (熊本県・日奈久温泉) といったツアーも実施されていた。

(4) 療養

研究対象とした 686 件のなかで、表-6 に示した 12 件のプランで療養のプログラムが行われていた。例えば、長野県の鹿教湯温泉では、温泉療養指導士による入浴方法の案内や水中運動の実演、鹿児島県・指宿温泉では、砂むし温泉とタラソテラピー (海洋療法) を組み合わせた宿泊プランが設定されていた。

4. まとめ

本研究では、旅行・宿泊プランから現代における「湯治」の実態に迫った。宿泊・健康・観光・療養の 4 項目について、以下の点が明らかとなった。

1. 従来の「湯治」よりも、宿泊期間は短縮していたが、連泊可能なプランが多数設定されていた。
 2. 湯治に訪れた際の食事については、自炊を行うことができる湯治専用棟も、継続して使用されていた
 3. 健康増進のために、散策や自転車でのツーリングが行われ、酒造見学やまち歩きを行うプランもみられた
 4. 温泉療養指導士による湯治の指導も実施されていた
- 以上のように、現代でも「湯治」の基本的な理念は継承されつつ、新しい形態もみられるようになってきた。

参考文献

- 1) 財団法人日本交通公社：『観光読本 (第 2 版)』, pp.51-61, 2009.

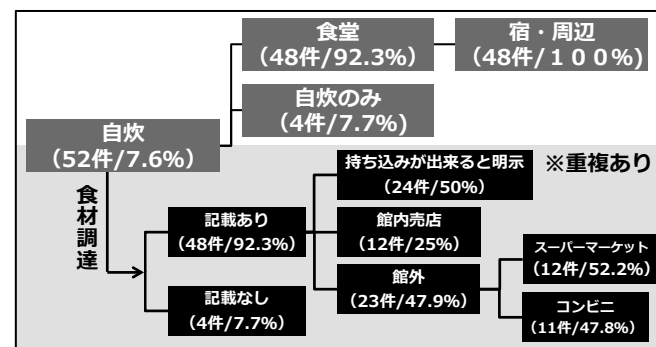


図-2 自炊時の食料調達

- 2) JTB 総合研究所：『観光学基礎 観光に関する 14 章』, p.252, 2014.
- 3) 溝尾良隆：『観光学全集 第 1 巻 観光学の基礎』, pp.149-150, 2009.

表-2 本稿で研究対象とした「食事」の内訳

分類項目		該当件数 (686 件中)	割合 (%)
食事なし		109	15.9
通常の食事を提供		331	48.2
自炊		52	7.6
宿が提供する食事の工夫	ヘルシー	55	8.0
	身体に良い	10	1.5
	薬膳料理	20	2.9
	健康に配慮		
	通常のプランで提供される食事より「少なめ」	72	10.5
	「湯治」専用のメニュー	15	2.2
	管理栄養士による監修	3	0.4
	療養専用のメニュー	1	0.1
	自家農園で栽培された野菜	17	2.5
	無農薬・有機野菜	1	0.1
小 計		194	28.3
合 計		686	100.0

表-3 「湯治」を行う宿泊設備の内訳

棟 名	分類項目	該当件数 (686 件中)	割合 (%)
湯治棟	単独	17	6.4
	一般棟と共同	0	
	一般棟と繋がっている	27	
自炊棟	単独	0	1.7
	一般棟と共同	6	
	一般棟と繋がっている	6	
合 計		56	8.1

表-4 「健康」に関して分類した項目一覧

分類項目		該当件数 (686 件中)		割合 (%)
歩く	散策	55	72	10.5
	ウォーキング	17		
登山	ハイキング・トレッキング	37		5.4
自然	森林浴	3		0.4
自転車	ツーリング	2		0.3
トレーニング	ジム	5		0.7
合 計		119		17.3

表-5 宿泊プランに組み込まれる「観光」の一覧

分 類 項 目	該当件数 (686 件中)	割合 (%)		
周辺施設	文化施設 神社仏閣	20 34	54	7.9
巡り	世界遺産	1	60	8.7
	史跡	2		
	名所	3		
	パワースポット	3		
	外湯	48		
	足湯	3		
ツアー	酒造見学	1	2	0.3
	路地裏まち歩き	1		
海水浴		1	1	0.1
合 計		117		17.1

表-6 療養が組み込まれる宿泊プランの内訳

分類項目	該当件数 (686 件中)	割合 (%)
指導員のアドバイス	4	0.6
専門施設での療養	3	0.4
病院での療養	5	0.7
合 計	12	1.7